



本寺専修寺御廟にて

この度の地震の揺れにより、歴代上人の石塔上部が落下。まん中の六角柱も面が回転している。後ろの石壙は倒壊している様子がうかがえる。

衝撃的な東日本大震災からすでに2ヶ月以上が過ぎました。被災地は多くの人々の献身的な努力により、徐々に復興に向かって動いています。しかし、その後も余震が頻発しており、大きい余震や誘発地震の発生も危惧されています。さらに、福島第一原子力発電所の事故は、想像を絶する巨大さ、複雑さ、速さで進行し、未だに予断を許さない深刻な事態が続いている。改めて、このたびの大震災により、犠牲となられた多くの方々に哀悼の意を表しますと共に、避難生活を強いられている方々に心からのお見舞いを申します。

今回の大震災は、東北・関東の広大な地域において、原発事故も伴ったことから、復興の長期化が予測されています。早速、東日本大震災対策本部を宗務院内に立ち

総務 藤森 邦夫

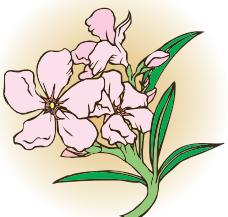
東日本大震災に 関して



発行所
真宗高田派宗務院
三重県津市一身田町2819
電話 059-232-4171
FAX 059-232-1414
HP www.senjuji.or.jp



発行部数 35,000部



ますようお願い申し上げます。
日本は、戦後、焼け野原から経済大国に復興しました。産業は効率的であることを第一とし、大量生産と大量消費による製品のコストダウンが、経済発展をもたらしてきました。それと、我々の生活は電化製品で取囲まれ、電気による便利な生活を享受してきました。その膨大な量の電気は原発に負うところが大きく、地球温暖化問題が追い風となり、原発は二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーとしてその重要性が強調されてきました。しかし、大震災は東別院、横浜別院を含め四十一寺あり、被害の詳細については現在調査中です。幸い崩壊した寺院はありませんが、屋根瓦のずれや落地下、壁のひび割れや剥離、墓石、壙、灯籠等の倒壊が多く生じています。さらに、誘発地震の発生した新潟の被害も大きい。

義援金の受付は宗務院、進納所、納骨堂、御遠忌別局で行つており、「開山聖人七百五十回遠忌報恩大法会のお待ち受け法会」では、婦人会による義援金の募財が行われました。四月四日、集まつた義援金七百十五万円余を第一次として中日新聞社に寄託し、被災地に届けられました。義援金は、門室を始め、多くの寺院、お同行の方から寄せられました。ここに厚く御礼申し上げますとともに、今後ともお力添えをいただき

ます。
日常のニュースで流される大震災や原発事故の惨状は、何時までも、我々の心を痛め付けます。その心を和らげ、生きる勇気を与えるものは、全ての人々を救済するという阿弥陀仏の本願を信じることです。そして、親鸞聖人が「明日ありと思う心のあだ桜夜半に嵐の吹かぬものはかは」と歌われているように、この一瞬を大事にし、毎日毎日を一生懸命に生きる。その生き方が、「日日是好日（毎日が好い日）」につながるもの

《秋迦涅槃図と動物たち》

平成二十年に三重県表具内装組合連合会の手によつて解体修理が施された涅槃図は、表具全体の大きさが横幅四七四・五cm・高さ六三三・三cmで、絵の部分は幅四〇五・八cm・高さ五五九・七cmの巨大な絵です。絵の部分は極彩色で画かれ、表具の部分も織物ではなく絵の具で描いたものです。これは、布地を用いると重くなつて傷みやすくなるのを防止するためと思われます。料紙には「宣紙(せんし)」という中国の紙が用いられていて、幅三五一・五cm、縦一三六・四cmの料紙を四段に繋いで用いています。

毎年二月十五日の涅槃会に一日だけ如来堂に懸かり、毎年、参拝に訪れる人々に圧倒的な印象を与えていました。とても大きいので、天空からお釈迦様の涅槃を悲しむマヤ夫人(ぶにん)の姿は御堂の天井近くに在つて詳しい様子が解りません。この涅槃図の特徴は大きさだけではありません。実は絵の下部には、池の鯉や地面を這う昆虫・牛・犬・猫などの家畜や、鹿や熊などの野生動物もまことに上手く画かれています。一度、涅槃会の前夜、御堂の唐戸を閉じてから暗闇の中で

ロウソクの明かりだけを頼りに拝観したことがあります。お釈迦様のお顔は金色なので仄かに耀きますが、お弟子の悲しむ姿よりも、動物たちの様子が実に興味深く、特に目前には、仏様に献花する鼈鼠(イタチ)が配置されとても印象深い思い出があります。

この涅槃図には製作年代を示す記録や絵師の署名・落款などがあります。平成二十年の解体修理のとき、この絵の木製の丸太のような太い軸に、保存箱を新調した際の記録が発見され、「安永十年(一七八二)二月、江州(現、滋賀県)野洲郡富澤村、大工今井九兵衛作」と書かれていますが、この年より三十年ほど以前の寛延三年(一七五〇年二月十五日)に「如来堂へも出御、涅槃像へ御焼香」との記事があつて、その当時すでにこの涅槃図が懸けられていたことが知られています。

また、修理の際に発見された、当初の裏打ち紙と思われる料紙に列記する専修寺御歴代名の末尾に、第十四世の堯秀上人(在住職一六三四~一六四六)の名が確認されることから、この涅槃図は専修寺第

十六世の堯円上人(在住職一六五四年~一七〇〇年、一七一六年遷化)のときか、次の第十七世円猷上人(在住職一七一〇年~五三年、一七五三年遷化)のころに発願され、如来堂が完成して本尊阿弥陀如来の遷仏法会が挙行された寛延元年(一七四八年)前後に製作し供養されたものと思われます。ちなみに、この記録以前の寛保三年『御堂日録』(一七四三年二月)には涅槃会や涅槃図の記事がなく、このころ如来堂はまだ基礎工事中で、上棟式は翌年の延享元年(一七四四年)のことです。



親鸞聖人のご生涯シリーズ⑯

著述の専念

親鸞聖人が京都に帰られてから九十歳でお亡くなりになるまでの約二十七年間、聖人は関東であれほど活発であつた民衆教化はほとんどされ

聖人の著書はすべてこの時期に書かれました。
（主著 けんとう 興淨土真実教行証文
類い きょうるいじゅうじやう あんじょう
（教行信証）一だけは五十三

二歳の頃、関東において草稿となるものが出来ていたようですが、その推敲は生涯に亘つて続けられました。とは云うものの、京都に戻られてからしばらくは先達の著書の書写を続けられ、ご自身の著作はありませんでした。しかしその後、七十六歳

で『淨土和讃』『淨土高僧和讃』をまとめられたのを皮切りに著述活動が始まります。聖人は八十歳代に入られるところは八十六歳まで続きます。

ここで主な著書を紹介し

【行信証】
『顯淨土真実教行証文類（教
行信証）』

三和讚と『淨土和讚』『淨土
高僧和讚』『正像末法和讚』
『皇太子聖德奉讚（太子和讚）』

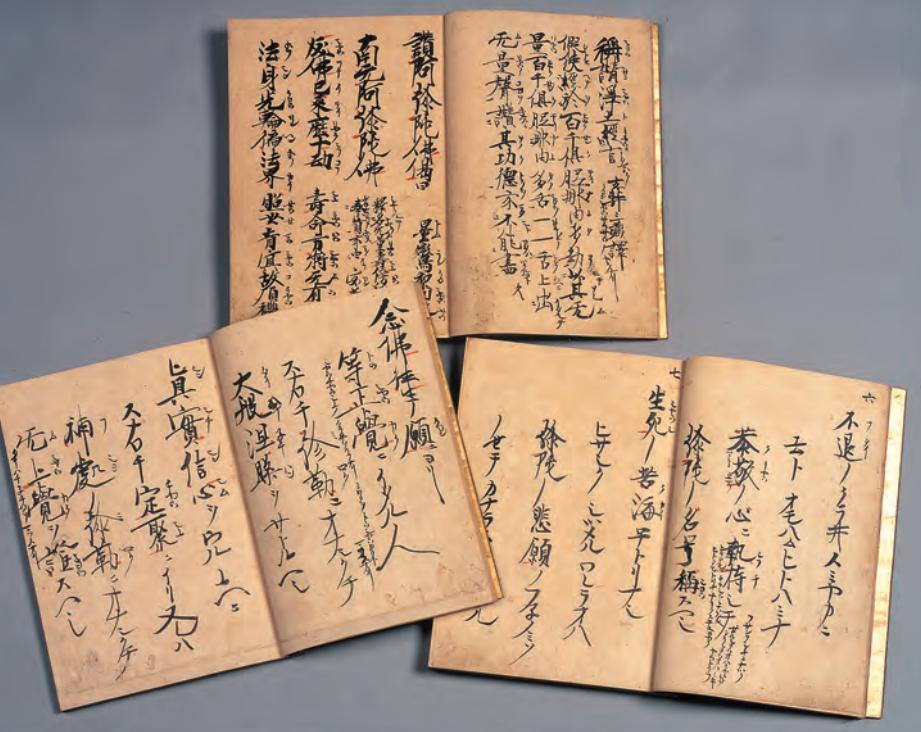
『淨土文類聚鈔』『淨土
唯信鈔文意』

『尊号真像銘文』

『出入二門偈頌』

『一念多念文意』

また、京都の聖人と関東の門弟との間でやり取りされたお手紙は、今日まで大切に保管され、聖人のお心を



世の中安穏なれ 仏法ひろまれ

社寺建造物彩色、障壁画、仏画、絵伝、頂相画、天井画などの制作と修復・復元承ります。その他石工、木地、漆、箔押、鈎金具など、ご相談下さい。

ものづくりの観点から、あらゆる職種の本物の職人による法物制作のお手伝いをします。

・ 絵所
〒514-0114 三重県津市一身田町2819
TEL:059-232-4171 FAX:059-232-1414
(本山宗務院内 絵所)

(教学院第三部会)

聖人がたぐいまれなるご長命であつたことが、これら多くの著作を生み、結果その後の真宗教団を導く大きなともしひと成つたことは私たちにとつてこれほどの恩徳はありません。

知るための貴重な資料となつて います。高田派では「御書」として勤行ごとに頂き、大変親しまれており

武田龍精編 往生論註出典の研究

林智康著
觀鸞聖人と建学の精神

北畠景融著 仏道を学ぶ

本居宣長著

卷之三

無名
同人
編

松岡秀隆著
蓮如上人の門弟の人々
定価2500円税込

山崎龍明著
歎異抄とともに

定做T恤衫

600
8342
京都市下京区花屋町西洞院西入

振 F 電 600
 A 8342
 替 X 話 永
 00 京都市下京区花屋町西洞院西入
 077
 155
 233
 057
 111
 496
 906
 335
 611

お待ち受け法会 特別説教

鑑学 栗原 廣海

まことの心はなけれども
弥陀の回向の御名なれば
功德は十方にみちたもう

無慚無愧のこの身にて
まことの心はなけれども
弥陀の回向の御名なれば
功德は十方にみちたもう

はじめて、東日本大震災で尊いのちを亡くされた皆様に、衷心より哀悼の意を表させていただきますとともに、現在もご苦労されている被災された皆様に、心よりのお見舞いを申し上げます。

本日は開山聖人七百五十回遠忌報恩大法会のお待ち受け法会に、ようこそ参詣くださいました。「お待ち受け」とはどいふことなのか、辞書をひもいてみると、「構えて待つ」「心構えて待つ」と書かれています。高田本山では来年の四月六日から十六日まで十一日間、遠忌法会を私たちとは、どのような構えでお迎えしなければな

ます。これから的一年が問われるきっかけになる法会であると受け止めさせていただく必要があるのではないかと思います。

高田本山として親鸞聖人の遠忌法会をどのように迎えるかについて、テーマが設定されています。「聖人のみもとに帰ろう」これが高田派のテーマです。みもととは、「おいでになるところ」、「おそば」。具体的にどういうことかと考えますと、親鸞聖人がどのようななご生涯をお送りになつたのか。生涯をとおして私たちは何をお教えくださいましたのか。あらためて考えさせていただいて、聖人のお導きに私たちが生きさせていただくこと。

聖人の導きを私たちが理解し、うなずき、そのお導きに生きさせていたくことが、聖人のみもとに帰るということになるのだろうと思います。そのためにはこの一年、しつかりと自分を見つめながら生きさせていただきながら生きなければならないと思うのです。

聖人がどのようななご生涯を送られたかにつきましては、歴史的には分かりづらい部分がほとんどです。九歳で出家なさ

らないか。このことを、これから二十年間、比叡山で天台の厳しい勉学と修行に励まれたといふことです。この二十年のご修行がどのようなものであったかについては、詳しいことはほとんどのことがわかつおりません。常行の堂僧をしておられたことは聖人のご内室の恵信尼さまのお手紙によつてわかつておりますが、二十年間ずっとそうであつたのかはわかりません。聖人の二十年間のご修行の様子は、ほとんどわからぬのが現実ですが、存覚上人は「歎徳文」の中で、「定水をこらすといえども識浪しきりに動き、心月を観ずるといえども妄雲なお覆う」と、修行すれども心が明るくならない聖人のご心境、お悩みを語つておられます。

聖人はなんとか心を明るくしたいということで、六角堂に百日間参籠なさいます。このことは、恵信尼さまのお手紙によつてはつきりしているところです。そのお手紙を紹介させていただきたいと思います。

「聖人は比叡山を下りて六角堂に百日間籠もり、来世の救いをもとめて祈つておられたところ、九十五日目の明け方に、夢の中に聖徳太子が現れて、お言葉を示して下さいました。すぐに六角堂を出て、来世に救われる

教えを求め、法然上人にお会いになりました。そこで六角堂に籠もつたように、また百日間、雨に風の強い日もお通いになつたのです。そして来世の救いについての降る日も晴れた日も、どんなに善人にも悪人にも同じようには迷いの世界を離れる道を、ただひとすじに仰せになつて、法然上人のお言葉をお聞きして、しっかりと受けとられました。法然上人のいらつしやるところには人がなんと言おうと、たとえ地獄におちるに違ひないと死に変わりして迷い続けてきた身であるから、どこへでもついて行きますと人がいろいろ言つた時も仰せになつていました」

法然上人を尊崇し、全幅の信頼を寄せて生涯その教えに生きられた聖人の覚悟が語られていました。では、親鸞聖人が身を投じられた法然上人の教えとはどういうものであったのか。さはうに、善人も悪人も同じように迷いの世界を離れることのできる教えです。当時の善人とは修行もできる、勉強もできる、仏さまに対して善い行いができる人たち、法事も営める、そういう人たちが善人です。対して悪人とは、文字の読み書きもできな

緑と共に75年

三重県知事免許認可
(一級造園技能士) 造園・庭園管理

山本造園

代表 山本 進一郎

津市栗真小川町 869-77
TEL 232-7453
FAX 232-7453

お墓

寺標

墓地移転

靈園開発造成

高田本山御用達
全国優良石材店、認定店

創業110余年

ISHIGEN
STONES

株式会社 **ストーンズ** 石仙

(旧(有)山本石材店)

四日市市近鉄阿倉川駅前
☎ 059-331-4114
サイコヨイイン

い、何らの功德も積むことができない、そういう人間が悪人です。法然上人は、そういう人たちが区別、差別無く、ともに迷いの世界を離れることができる教えをお説きになつてゐた。

つまり善人か悪人か、身分が高いか低いか、年をとつてゐるかいないか、男か女か、そういう人間の相対的な区別、差別を越えて、私たちはともに愚かな人間なのだ。虚偽でしかりえない人間なのだ。仏さまの前では皆が平等に愚かであることを離られない、それが人間のありのままのすがたなのだ。こういう人間観に立った教えが法然上人のお念佛の教えだったのです。

「愚」ということ、根源的な人間の愚かさを自ら知るということは非常に難しいことです。が、この難しい自觉に導いてくださるのが、光としての仏さまのはたらきです。光に照らされて、この愚かさの眞実を知らされることには、同時に、私たちが阿弥陀仏のはたらきに攝取されている、阿弥陀さまに救いとられていることに気づかせていただくことがあります。同じことになります。法然上人は「淨土宗の人は愚者になりて往生す」、つまり、淨土の教えを仰ぐ人は、わが身の愚かさに気づいて往生するのであると常日づいて往生するのであると常日

頃おっしゃつていたと、親鸞聖人はご消息の中にお書きになつてあります。法然上人のお導きによつて、親鸞聖人は自らを「愚癡」とお名のりになりました。さて、現代の世の中に目を移しますと、人間の欲望が大変肥大化しまして、物質的な豊かさの追求は限度を知らないのが現代です。物質的欲求のあくなき追求が、短期間に科学技術の目覚ましい発展をもたらしました。しかし科学技術の目覚ましい発展が、実は人間をいよいよ傲慢にしてきたと言えるのではないかと思います。そんな人間の傲慢さが、このたびの東日本大地震災で浮き彫りにされたのではないかと思うのです。想定外という言葉が何度も出てまいりました。三十メートルちかい津波が想定外であった。福島第一原子力発電所の事故。それも想定外であったということで大変なことになりました。

「じゅ」の名は、釈迦三尊の「人、文殊菩薩から取られています。文殊菩薩は智慧を代表する菩薩です。エネルギーを、輸入でしか確保できない日本にとって、高速增长炉は文殊菩薩の智慧にも匹敵する、人知の結晶であると考えて「もんじゅ」と命名したとしたら、これほど恐ろしい慢心はありません。このような人間の傲慢さが浮き彫りにされたのが、今回の震災ではないでしょうか。

今こそ親鸞聖人が「愚癡」と名のられましたことの意味に気づかせていただかねばならないのではないかと思います。この愚かさとは、仏さまに対する愚かさです。私たちは、この相対的な世界の中を、努力なしには生きていけません。愚かだから何もできない、諦めてしまって何もしないい、それが愚かさの自覚ではありません。愚かさの自覚とは、相対的な世界を主体的に生きていく、その自分を根底から支えてくれる自覚です。なぜなら、この自覚は、阿弥陀さまが「自分にまかせよ、かなづたすはるから」との喚び声、つまり「なまくらみだぶつ無阿弥陀仏」との本願招喚の勅命に、「どうぞよろしくお願ひます」と、我が身を投げ入れた人の自覚だからです。それは人知を超えた大いなるはたらきに

常に謙虚であるあり方です。講題のご教説はこのことをお示しくださっているのです。

第85回 仏教文化講座

とき 8月1日(月)~5日(金) 午前9時~正午迄
但し初日は9時30分より開講式
ところ 宗務院(第1会議室)

月 日	講 師	講 題
8／1(月)	ほつ 法 主 殿	ご しん こう 御 親 講
8／2(火)	た なか きょうしう 武藏野女子学院院長 田中教照先生	真宗のご利益
8／3(水)	まつ お けん じ 山形大学教授 松尾剛次先生	親鸞再考 - 僧にあらず 俗にあらず -
8／4(木)	こまざわ さわ まさる こまざわ小児科院長 駒澤 勝先生	阿弥陀様と私
8／5(金)	ち くさ あつ まる 高田短期大学教授 善休寺住職 千草篤麿先生	佛教福祉の視点

主催 喜宗高田派本山 津市一身田町2819 ☎(059)232-4171 <http://www.senjuji.or.jp/>

Page 1

お盆の法会を本山では、仏法のご縁を歓ぶという意味で歓喜会と申します。

八月の行事

引き続き、御影堂にてお説教がございます。どうぞ、聴聞下さい。

どうぞ、参詣下さい。
朝のおつとめ
毎朝、午前七時より。
始めに如来堂、次に御影堂にて

本山諸行事

九月の行事



ホーオーが目印

六代目 (株)ぬし与仏壇店

桑名木店・四日市店・蟹江店・桑名メモリアルパーク

秋のお彼岸の法会です。仏徳を讃嘆させていただく、讃佛会と申します。

（二十三日は勤行後に）親教と鑑学の講師による復演がござります。）

御影堂にて。

午前十一時三十分より勤行。

引き続きお説教がございます。

震災がおこり、本寺専修寺がある栃木県真岡市高田も大きな揺れにみまわれました。建築物の倒壊は免れましたが、老朽化しております書院や庫裡の壁に損傷が出るなどの被害がありました。また親鸞聖人の御遺骨が埋葬してございまます御廟では円柱形の墓石が地震の揺れで向きが変わつてしまつたり、御廟を囲む石垣の一部が倒壊しております。

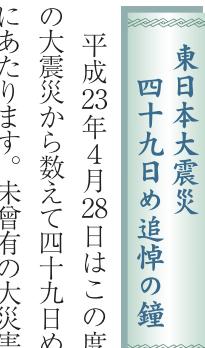


崩れた壁をベニヤ板で補修

つきましては平成23年4月2日から4日まで予定しておりました、本寺専修寺での御遠忌は延期になりました。親鸞聖人ゆかりの寺院での御遠忌は延期になります。被災地の方々ともども、一日も早く御遠忌をお迎え申し上げることが出来ますことを心より念じ

つきましては平成23年4月28日はこの度の大震災から数えて四十九日めにあたります。未曾有の大災害により、多くの尊い命が失われました。ご葬儀はおろか荼毘に付して差し上げることもできず、葬られた多くの方々、未だに消息がご不明の方々のために、哀悼の思いをこめ

て、地震が発生した午後2時46分に合わせて本山の大梵鐘を藤森総務が撞き、職員とともに1分間黙祷しました。



倒壊した御廟の石垣

本山では境内の数カ所で工事を行つておりますが、この時ばかりは工事現場の関係者も作業を中断して鐘の合図とともに一緒に黙祷いたしました。



東日本大震災義援金

皆様のご協力をお願い申し上げます。

1. ゆうちょ銀行、郵便局からの振込み
口座記号番号 00870-2-143063
口座加入者名 真宗高田派宗務院（義援金）
2. 他行からの振込み
ゆうちょ銀行：0八九(ゼロハチキュウ)店(当)0143063
3. 宗務院、納骨堂、進納所、御遠忌事務所でも受付ております。



中日新聞社三重総局にて

御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）
電話 (075)371-0854・8181～2番
FAX (075)344-2701番
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344



上げるばかりでござります。
詳しい日時が決まりました。
去る3月11日に未曾有の大
震災がおこり、本寺専修寺が
ある栃木県真岡市高田も大き
な揺れにみまわれました。建
築物の倒壊は免れましたが、
老朽化しております書院や庫
裡の壁に損傷が出るなどの被
害がありました。また親鸞聖
人の御遺骨が埋葬してござい
ます御廟では円柱形の墓石が
地震の揺れで向きが変わつ
てしまつたり、御廟を囲む石垣
の一部が倒壊しております。

詳しい日時が決まりました。
去る3月11日に未曾有の大
震災がおこり、本寺専修寺が
ある栃木県真岡市高田も大き
な揺れにみまわれました。建
築物の倒壊は免れましたが、
老朽化しております書院や庫
裡の壁に損傷が出るなどの被
害がありました。また親鸞聖
人の御遺骨が埋葬してござい
ます御廟では円柱形の墓石が
地震の揺れで向きが変わつ
てしまつたり、御廟を囲む石垣
の一部が倒壊しております。

今後も義援金の呼びかけを行つてまいります。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

開山聖人七百五十回遠忌報恩大法会
平成二十四年四月六日(金)～十六日(月)まで厳修
(聖人のみもとに帰ろう)
真宗高田派本山 専修寺



寺院名

法然と親鸞 ゆかりの名宝

法然上人八百回忌・親鸞聖人七百五十回忌
特別展

In Commemoration of the 800th Grand Memorial of Honen and the 750th Grand Memorial of Shinran
Honen and Shinran: Treasures Related to the Great Masters of the Kamakura Buddhism

八百余年の時を超えて、再び出あう

2011年10月25日[火]～12月4日[日]
ゆかりの名宝、この秋東京に勢ぞろい!

開館時間=午前9時30分～午後5時※ただし金曜日は午後8時まで(入館は閉館の30分前まで) 休館日=月曜日
主催=東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社 協賛=日本写真印刷、三井住友海上火災保険
特別協力=知恩院、増上寺、金戒光明寺、知恩寺、清淨華院、善導寺、光明寺(鎌倉市)、善光寺大本願、光明寺(長岡京市)、禪林寺、誓願寺、遊行寺、西本願寺、京都 東本願寺、専修寺、佛光寺、興正寺、錦織寺、毫摶寺、誠照寺、専照寺、證誠寺 公式ホームページ=<http://honen-shinran.com>

TNM 東京国立博物館 平成館(上野公園)
TOKYO NATIONAL MUSEUM ☎110-8712 東京都台東区上野公園13-9 <http://www.tnm.jp>

【背景書】重要文化財 選択本願念仏集(部分) 京都・知恩院藏
重要文化財 無皮御影(親鸞聖人像)(部分) 奈良國立博物館藏
【背景書】重要文化財 選択本願念仏集(部分) 京都・蘆山寺藏
【背景書】国宝 行教信證(坂峯本)(部分) 京都・東本願寺(京都市烏丸七条)蔵

交通案内

JR:上野駅公園口、鷺谷駅下車徒歩10分
東京メトロ:銀座線・日比谷線・千代田線根津駅下車徒歩15分
京成電鉄:京成上野駅下車徒歩15分

メキトリ線

2011年
10月25日[火]～12月4日[日]
東京国立博物館 平成館
[上野公園]

特別展 法然と親鸞 ゆかりの名宝
特別割引引換券

*本券に右記の料金を添えて、
売札窓口にお出し下さい。
*1枚で2名様まで1回限り有効、
他券との併用はできません。

一般	1,500円⇒1,400円
大学生	1,200円⇒1,100円
高校生	900円⇒800円